

競技注意事項

2024 中学選抜混成

1 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 アスリートビブスについて

- (1)ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2)跳躍種目は胸または背につけるだけでよい。
- (3)トラック競技の1000mに出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバーカード」を配付する。
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
100mから400mまでの種目は腰ナンバーカードは付けない。
- (4)腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみです）

- (1)ウォーミングアップのために、北競技場は7時30分から9時30分まで使用できる。ホームストレートは、100mH、110mHの種目に限る。男女走幅跳、男女棒高跳、男女三段跳、男女走高跳の種目については競技の準備ができ次第使用してもよい。
※ホームストレートのレーン使用区分は原則として次のとおりとする。
4～6レーンは100mH、7～8レーンは110mHとする。
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)競技に支障の無い範囲で、バックストレートをウォーミングアップとして使用できる。（競技役員の指示に従うこと）
- (4)野球場周辺でのウォーミングアップは禁止する。

4 招集について

- (1)招集所は200mスタート付近倉庫に設ける。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	30分前
混成競技	最初の種目は上記のとおりとする。その後の種目は競技場所で20分前までに点呼する。		

5 競技場への入退場について

- (1)入退場は、競技場南門または、北門より行う。入り口でアスリートビブスを見せて入場する。
- (2)競技者・役員・補助員以外はグラウンド内には入らない。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、混成競技の最終種目を除いてプログラムの数字で示す。欠場者のレーンをあける。

7 競技について

- (1)トラック競技について
 - ①すべて写真判定装置を使用する。
 - ②短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
 - ③予選上位8名は決勝を行う。
- (2)フィールド競技について
 - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。

③四種競技と走高跳以外のフィールド種目は、6回試技を行う。

(3)競技者は、勝手に競技場を離れること、ビデオ装置・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。(競技規則TR6)

8 走高跳のバーの上げ方 (ただし、天候等の状況により変更することがある。)

混成競技			練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
中学 四種	男子	走高跳	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後3cm
			練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
	男子	走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
	女子	走高跳	1m25	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以後3cm

※練習は一人2回まで行うことができる。高さについては同じ高さでも、A・B1回ずつでもよい。

	練習	1	2	3	4	5	
男子棒高跳	フリー	2m60	2m80	3m00	3m20	3m30	以後10cm
女子棒高跳	フリー	1m80	2m00	2m20	2m30	2m40	以後10cm

9 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。棒高跳び用ポールは、個人所有のものが使用できる。

10 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

ランニングシューズで競技会へ出場する場合靴底の厚さは、フィールド競技では20mmまで、トラック種目では400mまでは20mm、800m以上では25mmまでとする。ただし、投てき種目に関してはその限りではない。

11 表彰について

中学四種競技は、8位まで表彰する。

12 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

(1)選手は正面玄関からの入場を禁止する。

(2)清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行き、環境美化に努める。

※ゴミ問題は深刻な状況です。各自自宅へ「ゴミの持ち帰り」をお願いします。

13 スタンドの利用について

(1)本大会については、観戦に対する入場規制を設けない。選手、保護者、引率者の方などが利用可能。

(2)入場許可証や入場可能時間の規制はない。

(3)入場については、競技場外の階段を利用すること。

(4)競技場内のスタンドにつながる階段は封鎖するため通行不可。

※選手がスタンドを利用する場合は、外の階段を利用すること。

14 その他

(1)氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。

(2)貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。

(3)応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**

(4)記録の掲示は行わない。携帯速報より確認すること。

(5)四種競技の番組編成については、100mスタート地点後方の倉庫に掲示する。

(6)全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、県通信・県総体時に本部で説明を受けること。

【全国標準記録】 男子四種 2500点 女子四種 2630点